

ハチミツを1歳未満の乳児に 食べさせないでください

* 乳児ボツリヌス症にご注意 *

ハチミツはボツリヌス菌の芽胞によって汚染されている可能性があります。芽胞は、おおむね1歳を過ぎたお子さんや成人が食べても害にはなりません。1歳未満の乳児では、腸の中で増殖して乳児ボツリヌス症を引き起こすおそれがあります。

乳児ボツリヌス症とは

1987年(昭和62年)10月、当時の厚生省が注意を呼びかける通知を出し、その後、ハチミツを原因とする事例は減少しましたが、平成29年2月、東京都で、ハチミツが原因と推定される乳児ボツリヌス症の発生がありました。

乳児ボツリヌス症は、1歳未満の乳児特有の病気です。

摂取されたボツリヌス菌の芽胞が、乳児の腸内で発芽・増殖し、産生された毒素により発症するものです。

芽胞とは、ボツリヌス菌など特定の細菌が、増殖に適さない環境下において、熱や乾燥に対し高い抵抗性を持った状態をいい、100℃で長時間加熱しても、死滅させることができません。

乳児ボツリヌス症の初期症状は便秘が数日間続くことで、進行すると、全身の筋力低下、哺乳力の低下、泣き声が小さくなる、首のすわりが悪くなるなど筋肉が弛緩することによる麻痺症状が起こります。重症化すると、呼吸困難になり、死に至ることもあります。

※ご家族の方にも乳児ボツリヌス症についての情報をお伝えください。

＜お問い合わせ先＞

岐阜市保健所食品衛生課 電話番号：058-252-7194

岐阜市保健所健康増進課 電話番号：058-252-7193